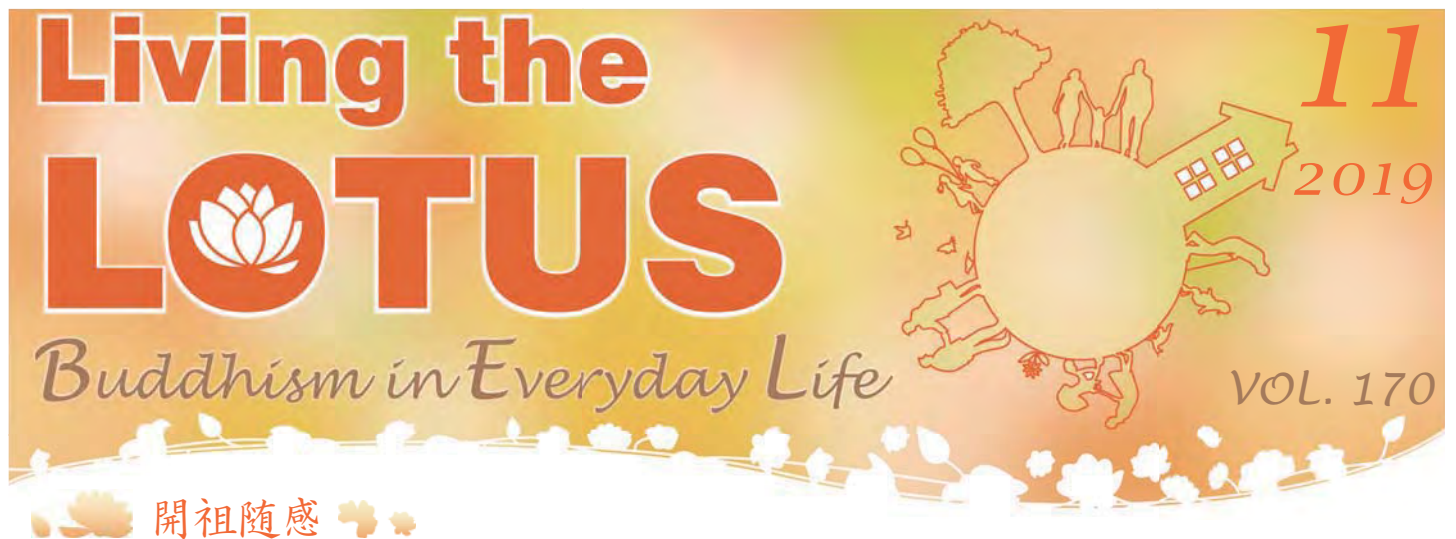




どっしりと構える

私が東京に出てきたばかりのころ、縁日で占い師に「あんたは刺激がないとだめな人だ」と言われたことがありました。それから私は、困難な問題にぶつかると「いよいよおもしろくなってきたぞ」と、自分に言い聞かせるようになったのです。

ふだん、なんとか事が運んでいるときは、これまで続けてきたことを大きく変えるのは、できそうでいて、なかなかできないものなのです。ところが、崖っぷちまで追い詰められてしまうと、嫌でも変えずにいられなくなるわけです。

会社でも組織がガッチリと整ってしまうと、みんなが、このままではいけないと気づいていても、いろいろ

ろと差し障り^{さわ}があつて、これまでのやり方を変えることがなかなかできません。むしろ不況の時こそ、体質改善の絶好のチャンスなのです。「この難関を乗り越えなくては」と、みんなが心を一つにして取り組むことができます。これが「提婆達多^{だいばだつた}が善知識^{ぜんちしき}」と拝む法華經の考え方です。

ピンチをチャンスにしてしまえるようになったら、もう怖いものなしです。よいことがきても悪いことがきても、「いよいよおもしろくなってきたぞ」と、どっしり構えていられます。

(『開祖随感』9, p. 182-183)

Living the Lotus 2019年11月号 (Vol.170)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部經を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華經を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華經の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



「励まし」と「精進」

立正佼成会会長 庭野日鏡

仏からの励まし

信仰の世界では、よく神仏に「救われる」といういい方をします。仏教でいえば、仏が私たちを救ってくださるということですが、それは、単に「救い」を待っていればいい、という意味ではなさそうです。

法華経の「化城論品」に、「能く三界の獄より 諸の衆生を勉出したもう」という一節があります。「勉出」とは「すすめ、励ます」ことです。この経文について開祖さまは、「仏さまは、苦しみや悩みに満ちている世界(獄)から、無条件に出してくださるのではなく、教えによって真理を知らせ、そこから出ることを励ましすすめてくださる」と解説し、「教えにもとづくみずからの努力によって、苦悩の世界から出ていかねばならない」と明言しています。

仏の教えに結縁した私たちは、すでに、そしてつねに、教えをとおして仏から「励まし」を受けているわけですから、苦悩の世界から出ていくみずからの実践が大事であると、いまさらながら痛感させられます。

ところでみなさんは、「化城論品」の先の一節が説かれた偈(詩)の、結びの一文をご存じでしょうか。

そうです。みなさんもよくご存じの、「普回向」で知られる次の経文です。「願わくは此の功德を以て／普く一切に及ぼし／我等と衆生と／皆共に仏道を成ぜん」。

この一節は、「仏を供養する功德を、多くの人びとに回向し(差し向け)て、みなともに仏の境地に達したい」と願う言葉で、少し難しい印象ですが、私たちの生活にそって読み直すと、意外なほど身近な精進が浮かびあがります。

「家族や友だちをはじめ、ふれあう人には、いつもやさしくしよう。朝夕のご供養をと





おして、自分の心と行ないを見つめよう。そうして多くの人の善き縁となり、善き友となって、ともどもにほんとうの幸せを味わおう」

仏からの励ましを受けて実践する「みずからの努力」とは何かを考えると、私はこの経文のような、大きな願いにもとづく身近な精進が、真っ先に思い浮かぶのです。

ていねいに生きる

「善き友」といえば、「善き友、善き仲間」ということは、仏道の半ばにあたるのでしょうか」と問う弟子に対して、釈尊が「それこそが、仏道のすべてですよ」と説かれた話が有名です。そして釈尊は、後日この話を前置きとして、コーサラ国のパセーナディ王に大事な助言をしています。

「王さま、あなたは人びとの善き友、善き仲間として、率先して善きことにつとめ励むことです。すると、あなたがつとめ励む姿を見たり聞いたりした人はみな、王さまからどんな叱咤激励を受けるよりも強く、『私も怠らずに、つとめ励もう』と思うはずで」と説き示されたのです。

これは、私たちへの助言でもあります。親が子の幸せを願って激励するとき、まず自分がどのような人間になりたいかという「心願」が大事といわれますが、そのことにも通じる説話です。ただ「善きことにつとめ励む」とは何かといえば、それは暮らしのなかにある当たり前のことをなおざりにせず、日々をていねいに生きることでしょう。

だれにとっても、いまいるそこが仏道実践の「道場」ですから、いつでも当たり前のことを一つ一つ感謝して行ない、まわりの人と一緒に心を磨いて幸せを味わう。それが「精進」であり、「皆共に仏道を成ぜん」ということです。

ところが、私たちはときとして怠け心が起こり、当たり前のことさえできないことがあります。そのとき、私たちを支えるのが志や願いです。「あの人のようになりたい」と理想の人をめざしつつ、焦らずに、また歩きだせばいいのです。すべての人にほんとうの幸せをと願う仏を理想とし、人びとの「善き友」でありたいと願って――。

(『佼成』2019年11月号)





慈悲の実践の大切さに気づいて



ブラジル教会
クレイトン・ソウザ・リマ

この体験説法は、2019年7月21日にブラジル教会で行なわれた、
ブラジル教会発足48周年記念式典で発表されたものです。

皆さま、お願いいたします。

私はクレイトン・ソウザ・リマと申します。33歳独身です。私は親元を離れ一人暮らしを始めるため、2007年の終わりに実家のあるサンパウロ市内の東部地区から南部地区へ移り住みました。生活の利便性を求めて、引越し先は職場に近く、地下鉄へのアクセスも容易な場所を選びました。後でわかったことですが、私のアパートの隣にあったのが立正佼成会でした。アパートの窓から和太鼓の演奏会の様子などが見えたため、ここはきっとブラジル在住の日本人のセンターに違いないと思っていました。それが佼成会とのご縁をいただいたきっかけになりました。

私はコンピューターのシステム開発の仕事をしています。職場は大変忙しく、研究開発だけでなく顧客への対応も仕事の一部です。出社時間は決まっているものの退社時間に規定はなく、仕事が終わるまでは帰れません。ようやく帰宅できる頃には体は疲れ果て、地下鉄の出口からアパートまで可能な限り最短距離を通過して帰り着く毎日です。

そうした生活を続けながら、私は以前から幅広いジャンルの思想に興味を持ち、自分の性格や生活の仕方、ものごとの判断方法など、自分の生活に役立つような哲学書を何冊も読んでいました。その過程で、仏教が哲学ではなく宗教であることや、仏教にもさまざまな思想が含まれていることを知りました。しかし、仏教の教えをもっと学びたいと思っても、私の探し方が悪かったのか、求めているような情報は見つかりませんでした。一方その頃には隣が立正佼成会の教

会であることがわかっていましたので、一度訪ねてみようと思っていました。

佼成会の教会の掲示板に書かれていた仏教セミナーの日程を見て「今しかない」と思い、引っ越してから10年目の今年1月、初めて教会の門をくぐりました。

仏教セミナーはわかりやすく、教えの内容にも納得できました。慈悲心を育てること、目の前の人を尊重し、相手の立場を理解すること、そして先祖に感謝することの大切さを、その時に学ばせていただきました。仲原一嘉教会長さんによるセミナーを聴きながら、自分が教えの内容に納得していることに気づき、それまで自覚はしていなかったものの、もともと自分は仏教徒だったのかもしれないと思いました。

その日、私は「慈悲の瞑想」についても説明を受けました。



ブラジル教会発足48周年記念式典で説法するリマさん

「私が幸せでありますように」——そうですね、私は幸せになりたいです。

「私の親しい人々が幸せでありますように」——はい、その通りです。幸せになってもらいたいです。

「私の嫌いな人々も幸せでありますように」——その通りです。彼らにも幸せになってもらいたいと思います。

「私を嫌っている人々が幸せでありますように」——「え、ちょっと待って。それはできません」

そう私は心の中で叫びました。それは、私が自己中心的な考え方でセミナーを受けていたことに気づいた瞬間でした。セミナーではそれまでの自分に欠けていた、さまざまな考え方を教えていただきました。私はその時、佼成会で多くのことを学ばせていただこうと思いました。

それ以来、私は仏教セミナーや根本仏教研修会に何度も参加させていただき、教会で行なわれる9時のご供養にも、少なくとも週一回は参加しています。また、可能な限り教会のお手伝いもさせていただいています。

佼成会の教えに出会ってからまだ日の浅い私ですが、教えのおかげさまで自分自身が向上できているように思います。本当に感謝の思いでいっぱいです。

私には、3年間お付き合いしていた女性がいました。私たちの関係はうまくいっていませんでしたが、教えを学ぶことで、私自身の執着心が原因だったことに気づくことができました。結局、彼女との関係は続かず別れてしまいましたが、諸行無常の教えのおかげさまで、別れのつらさを乗り切ることができました。また、教えのおかげさまで、彼女との最後の話し合いも、お互いが抱いていた執着に気づかせていただく機会になり、お互いに人として向上し、寛容になり、あまり焦らずに生きていこうと話し合いました。

今、私は職場で「三つの実践」のうちの「朝のあいさつ」実践させていただいています。私の職場では、

同僚たちの多くがチームに分かれて仕事をしています。チーム同士の仕事は密接に関連し合っているため、ひとつのチームの業務の遅れが他のチームの仕事に直接影響します。そのため、顧客の希望する期限までに仕事が間に合わなかったときなど、一部の同僚同士の関係がギクシャクすることもあります。しかし、そんな時も「おはようございます!」と朝のあいさつを実践させていただくと、苦虫を噛み潰したような同僚の表情が和らぐのを何度も目にすることができました。

私は数年前に、少し早めの「ミッドライフ・クライシス」を経験しました。「ミッドライフ・クライシス」とは、中年期を迎えた人が経験するとされる心理的な危機で、生活環境の変化や加齢による生理機能の変化によって起きると言われます。私の場合は、物事が起きる原因や人間の思考方法を知ることにとらわれ、心が落ち着くことがありませんでした。その一方で、考えたことを日常生活にどう生かすかには、ほとんど関心が持てませんでした。佼成会と出会ったことで「中道」の大切さを教えていただき、それまでの極端な考え方を反省し、実践の重要性に気づかせていただきました。

今年4月、釈尊降誕会の式典で教会勧請ご本尊を拝受しました。降誕会という意義深い日にご本尊を拝受できたことをとても光栄に思います。翌週、自宅でご安置式が行なわれ、仲原教会長さん、寺田ミチさん、メリー・カンジド・デ・オリベイラさん、マルリ・サンシェス・ヒベイロ・デ・マトスさんがご参加くださいました。ご安置式の後、私たちはお茶を飲みながら歓談しました。ご安置式に来てくださった方々とは、それまでは親しい間柄ではなかったのですが、皆さんの善意を感じ良い友達になりました。それから何日か過ぎたあとも、ご宝前にお給仕をするときやご供養をあげるときは、いつも皆さんからいただいたエネルギーを感じることができました。

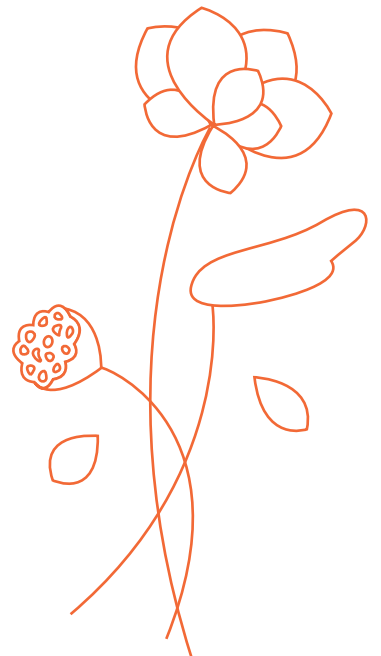
Spiritual Journey

私はこれから慈悲の実践の大切さを多くの人々にお伝えさせていただくことをお誓いいたします。私たち一人ひとりの幸せを、目の前にいる人を幸せにするエネルギーに変え、一人でも多くの人のお役に立てるように努力してまいります。

皆さま、ありがとうございました。



教会清掃活動に参加するリマさん



法華三部經

各品のあらましと要点

妙法蓮華經

見宝塔品第十一（後半）

じっぼうふんじんしよぶつ 十方分身諸仏の来集

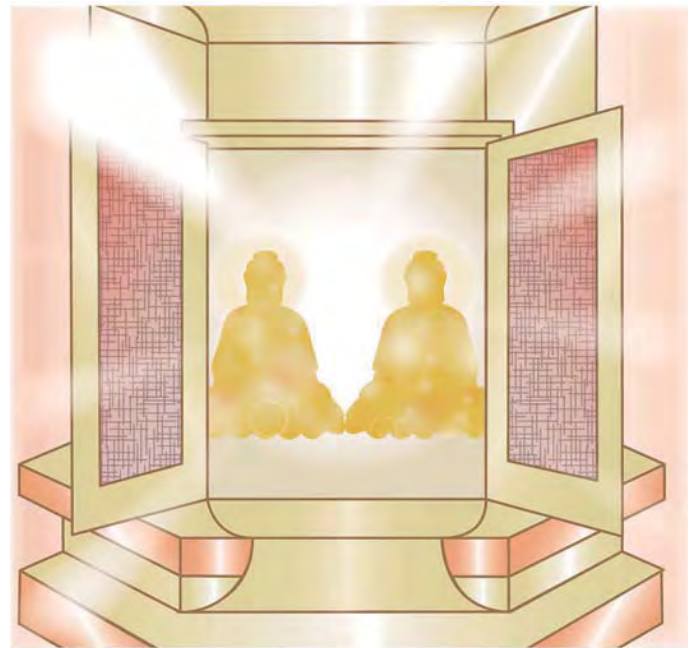
そこでお釈迦さまは、大樂説菩薩だいぎょうせつぼさつをはじめとする一同の願いによって、十方世界のご自分の分身をお集めになります。すると、娑婆国土ばかりでなく、全宇宙が仏さまの分身で充滿してしまうのです。それを見届けられたお釈迦さまは、スーと空中にお上りになって、宝塔の前におとどまりになります。

究極の真理を活動させるもの

そして、右手（智慧の象徴）で宝塔の扉をお開きになりますと、その中に、あたかもぜんじょう禪定に入ったかのようにじっと身動きもされずに坐しておられる多宝如来たほうの完全なお相が、ありありとすがた拝されるのです。

ところが、多宝如来は、たちまちお口を開かれて、「すばらしい。まことにすばらしい。よくぞ釈迦牟尼如来は、快くこの法華經をお説きくださいました」とおおせられたのです。

ここにもたいへん重大なことが象徴されています。真理の全相である多宝如来がじっと身動きもされずに坐しておられるというのは、〈究極の真理は永久不変である〉ということです。しかし、禪定に入ったかのように動かないものには、われわれの人生を変える力がありません。それを説く人があり、それが人間の心の中へ動きだしてきたとき、はじめて人間世界の救いとなるのです。だからこそ、究極の真理そのものである多宝如来が、その真理を説いてそれに動きを与えるはたらきをなさったお釈迦さ



まを、ほめたたえられるのです。ということはつまり、〈究極の真理は、それが説かれ、多くの人に理解され、活用されることを望んでいる〉のだということを、このように表現されているわけです。

にぶつどうざ 二仏同坐

その時、多宝仏は、師子座の真ん中にお座りになっておられたおん身を、半ばおずらしになり、「釈迦牟尼仏、どうぞこの座にお着きください」とおおせられ、釈迦牟尼仏はすぐ宝塔の中に入られて、多宝仏と並んでお座りになりました。

この光景にも、非常に大切なことが暗示されています。

第一に、多くの人びとが釈迦牟尼如来を、生き死にする肉体をもたれた仏さまとばかり思い込んでいる迷いを打ち破り、多宝如来と同じように、生滅しな

がらも生滅しない仏であることを示されているのです。これは、後の《如来寿量品第十六》で明らかにされることで、ここではまだ暗示だけにとどまっています。

第二に、法身の仏(多宝仏)と、応身の仏(釈迦牟尼仏)とは同格であることを示されているのです。すなわち、〈真如そのもの〉と〈真如を説く人〉は、同じように尊い存在であるという教えです。

りょうぼうくじゅう 令法久住

多宝・釈迦牟尼の二如来が、空中に浮かんだ宝塔の師子座にお座りになっているのを拝した大衆は、「仏さまはあのような高く遠い所にいらっしゃる。われわれも、如来の神力によって、虚空のあそこまで引き上げていただきたいものだ」という思いを起しました。その気持を察せられたお釈迦さまは、すぐさま一同を虚空へ引き上げておあげになりました。そして「いまこそ、もろもろの大衆に告げます。わたしが世を去った後、しっかりとこの教えを護持し、読誦するのは、だれとだれですか。その人は、いまわたしの前で誓いの言葉を述べなさい。

そもそも多宝如来は、久しく滅度しておられたのに、法華經の説かれるところには必ず出現してそれを証明しようという誓願によって、こうしてお相をあらわされ、大音声^{だいおんじょう}を發せられました。この多宝如来と、わたしと、わたしの分身^{ぶんじん}の諸仏、この三者のもつ意味をよくよく認識しなければなりません。

もろもろの弟子たちよ。だれがこの教えをよく護ってくれますか。いまこそ大願を起こして、この教えを

未来永劫に残して欲しいものです。もしこの法華經の教えをよく護ることのできる人があったならば、それがそのまま、わたしと多宝如来を供養することになるのです」とおおせられたのです。このお釈迦さまの呼びかけを〈令法久住〉といいます。

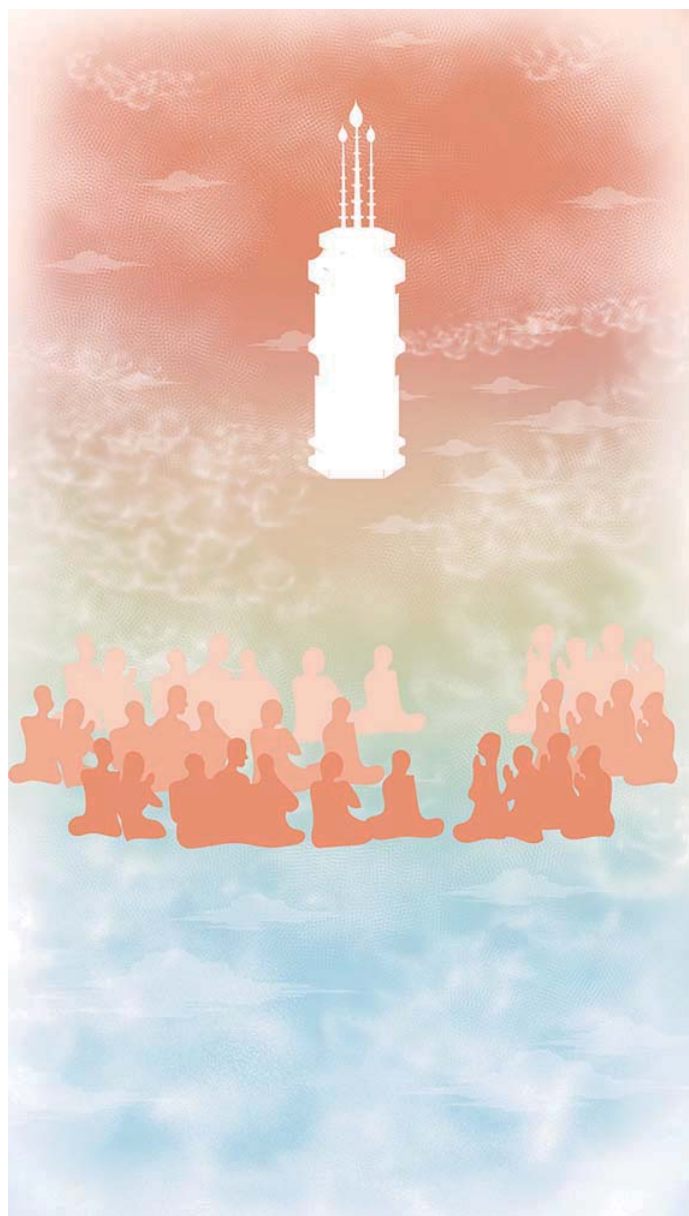
ろくなんくい 六難九易

このように衆生に法華經の広宣流布を呼びかけ、励まされると同時に、お釈迦さまの滅後に法華經を説きひろめることが、計り知れないほど困難であるがために、法華經弘通^{くつう}の功德がいかに甚大であるかを説かれました。これを〈六難九易〉といいます。六難とは、説經難・書持難・暫読難・説法難・聴受難・奉持難^{せつきょうなん しよじなん ざんどくなん せつぽうなん ちようじゆなん ぶじなん}をいいます。



にしょさんえ
二処三会

これまでの説法会は、^{りょうじゆせん}靈鷲山の山上で行なわれていました。そして、これから^{ぞくろいほんだいにじゅうに}《囑累品第二十二》の終わりまでは虚空において行なわれ、それから再び靈鷲山山上に戻ります。こうして法華經の説法会は、山上と虚空の二か所で、三回にわたって行なわれるので、〈二処三会〉といわれています。これにはやはり深い意味があるのです。



山上は現実、虚空は理想です。どのような教えにしても、初めは現実に即した教えでないと、とっつきにくくもあるし、理解も難しいのです。ですから仏さまも、初めは、どうしたら迷いを去り、人生苦から逃れられるかという、現実的な問題からお説きになったのです。

法華經だけを見ても、最初のほうでは、この世の成り立ちはどうなっているのか、人間とはいったいどんなものであるか、人間と人間との関係はどうあるのが正しいかということを見極める智慧をお説きになりました。

そういう智慧が身についてきたら、いよいよ理想の境地を示さなければなりません。すなわち、^{くおん}久遠^{ほんぶつ}本仏と一体となる境地であります。これは、凡夫にとって現実の生活ではなかなかつかみにくい境地であります。^{そうざ}僧伽の仲間（正しい宗教団体）に入り、さまざまの信仰上の修行なしではなかなか悟ることができません。つまり、虚空に上ってこそ到達しうる境地です。

その悟りに達したら、今度はまた現実に立ち戻って、その悟りをこの世で実践に移し、また多くの人びとに及ぼしていかなければ、人類全体の救いは実現せず、従って自分個人の救いも完成されません。そこで、説法会も再び現実に戻るわけです。

法華經は、このような、実に合理的な構成になっているのであります。

（庭野日敬著『法華三部經 各品のあらましと要点』

佼成出版社、2016年〔初版 1991年〕、p. 115-121）

皆共に仏道を成ぜん

開祖さま生誕会の月を迎えました。同時に教団としては1年間の締めくくりの大事な時でもあります。

開祖さまは「現実には人を救い、世を立て直す」との願いのもと、立正佼成会を創立されました。そして、自らの救われのみならず、他と共に救われ、世界を平和にする実践をされました。

今月のご法話で会長先生は、化城論品^{けじょうゆほん}を引用され、常に仏に励まされている私たちは、目の前の一つひとつのことを丁寧に行ない、善き縁となって自他共に救われていくことが大切であると教えていただきました。

教えに触れていない身近な人に、このみ教えをお伝えし、幸せになっていただく実践を通して、開祖さまへのご恩返しをさせていただきます!!

国際伝道部長
齋藤 高市



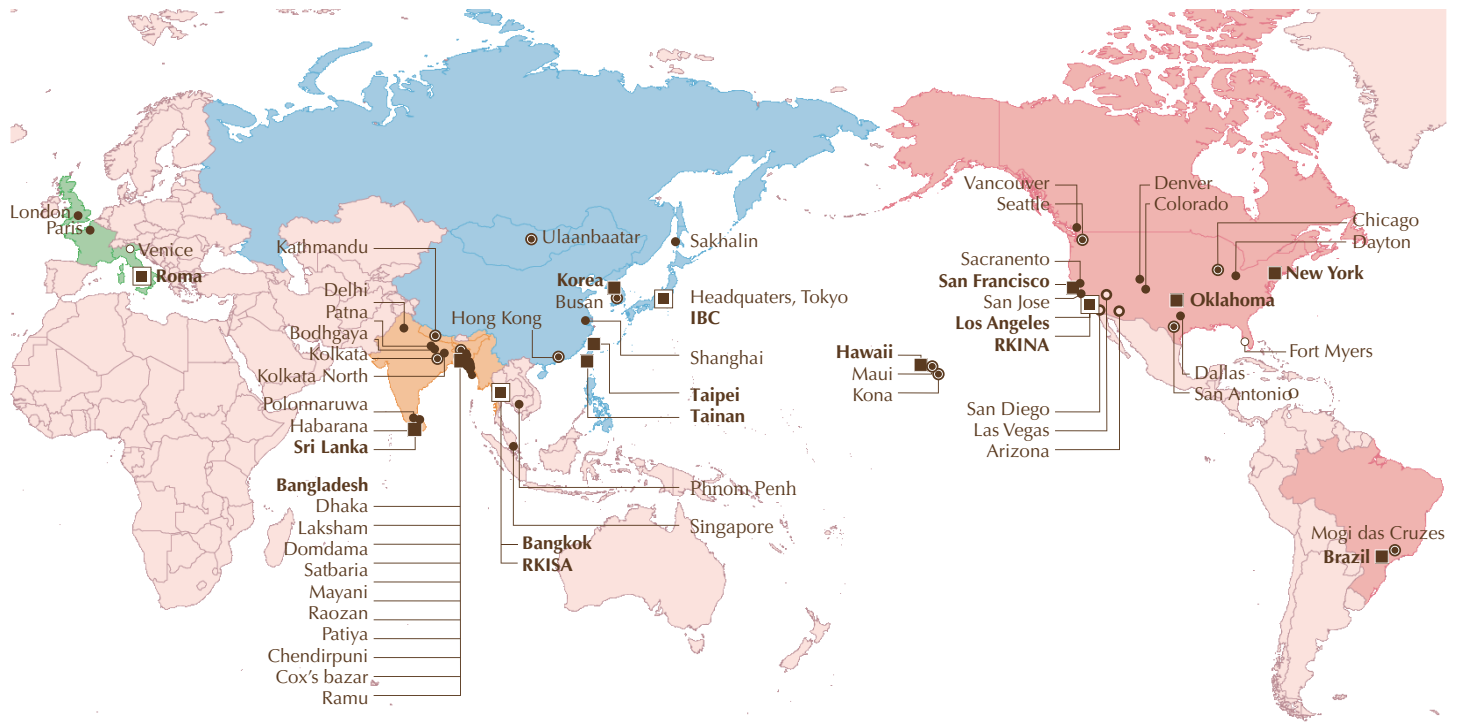
✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp



Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA

TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633

Email: info@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA

TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA

TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA

POBox 33636, CA 90033, USA

TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567

Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA

POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA

TEL: 1-650-359-6951 FAX: 1-650-359-6437

Email: info@rksf.org URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA

TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA

TEL: 1-773-842-5654

Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA

POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA

TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303

Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA

TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA

URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA

TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-262-4437

Email: info@rkina.org URL: <http://www.rkina.org>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA

(Mail) POBox 692042, San Antonio, TX 78269, USA

TEL: 1-210-561-7991 FAX: 1-210-696-7745

Email: dharmasanantonio@gmail.com

URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA

TEL: 1-253-945-0024 FAX: 1-253-945-0261

Email: rkseattlewashington@gmail.com

URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil

TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377

Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>

Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

在家佛教韓國立正佼成會

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea

TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea

TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓

4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan

TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會

台灣台南市崇明 23 街 45 號

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan

TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488

Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand

TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,

Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,

New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,

Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand

TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand

TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka

TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh

TEL/FAX: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

China Clinic, Patiya Sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,

Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar, Ramu Shibu

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia

TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,

Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia

TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

2F Ikh Mandal building, Khurenbulag bag, Bayan-Undur sum,

Orkhon province, Mongolia

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia

TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan

TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>